

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	誰もが、障がい・年齢に関係なく「できることではなく、やりたいことを」
事業主体 (連絡先)	団体名：ユニバーサル・サポートすわ 連絡先：090-3558-4502 メール：yunisaposuwa@gmail.com
事業区分	6ア 特色ある観光地づくり 2 保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト／ハード
総事業費	2,590,113円 (うち支援金：2,064,000円)

事業内容

- ユニバーサルツーリズムの可能性、周知と啓発のためのセミナー『ユニバーサルツーリズム推進セミナーinすわ』～誰にでも優しい観光地諏訪になるために～ 開催
- 諏訪近郊のモニターツアーにおけるサポーターのスキルアップ講習
 - ・車いすユーザーの富士見パノラマゴンドラ利用軽登山
 - ・原村社協と連携、高齢者の諏訪湖観光船ツアー
 - ・難病患者の会、富士見高原アウトドア体験ツアー
 - ・温泉宿泊の個人・団体の入浴介助
 - ・アウトドア用車椅子で田植え体験 他
- あいサポーター研修・車いす JINRIKI 体験の実施
 - ・原中学校・諏訪シニア大学・長野県福祉大学
 - ・原村元気塾・諏訪地域防災訓練 他
- インクルーシブ教育、人権教育、教育連携事業。特別支援学校、支援学級の外出支援におけるコーディネーター講習
 - ・花田養護学校遠足、参観日、文化祭
 - ・花田養護学校校外アウトドア体験
 - ・花田養護学校一般外部イベント参加
- バリアフリーリーフレットの作成
 - ・『らくらく入店の会』と連携し現地調査、啓発イベント、マップ作成



【花田養護学校遠足】

【目標・ねらい】

- ①誰もが安心して「旅＝夢」を楽しめる環境、人づくり。
- ②多様性を尊重する共生社会づくり。
- ③継続可能な心のバリアフリー。

事業効果

- ①上記1のユニバーサルツーリズム推進セミナーの開催で、諏訪地域の観光宿泊施設関係者、行政関係者、当事者等様々な人を巻き込む事で、ハード面ソフト面共に、問題や悩み、解決策などの意識の共有がなされた。特に観光協会との協働で新規事業がスタートすることは大きな一歩である。上記2・5において、多様な当事者と多様な場所へ出かける事で、サポーターのスキルが上がったり、外出先での理解が深まるなど、諏訪地域での意識の向上が見られる。
- ②上記3・4により、今まで障がい者や高齢者について、関わりがない人、年齢層にも広く研修等を行い、多くの人にまずは知ってもらえる事ができた。研修の評判を聞いて、様々な団体から研修依頼がきている。花田養護学校の生徒、先生、保護者の皆さんと一緒に関わり信頼を得る事で、学校外部との関わりを安心して持てるようになったと、当事者側からの共生社会への接点もコーディネートができた。

※自己評価【 A 】

- 【理由】
- ・観光協会との協働で新規事業がスタートすることになった。
 - ・あいサポーターが795名増えた。
 - ・街の人たちの理解が広がった。
 - ・お店の入り口にスロープを設置する店主さんが増えた。
 - ・花田養護学校の生徒が聖火リレーのグループランナーに選ばれた。

今後の取り組み

今後も引き続き、誰もが旅や外出を諦めないで、やりたいことができるように、環境や人材育成をしていきたい。同時に、外出支援のサポート以外に、高齢者や障がい者が取り残される事なく、社会の一員として心豊かに暮らせるような生活支援、社会とのコーディネートを行なっていきたい。